

「空気-酸素ブレンダー OA2006FV」

【警告】

- 空気/酸素の供給圧力は $0.45\text{MPa} \pm 0.1\text{MPa}$ で使用してください [誤動作防止のため]。
- 警報音開口部やブリード部を塞がないでください [誤動作防止のため]。
- 警報音が鳴った場合は使用を中止してください [酸素濃度、流量の設定値維持ができないため]。

【禁忌・禁止】

- ・直射日光の当たる場所、高温、高湿になる場所に設置及び保管をしないでください [プラスチック部材やパネルの劣化を防止するため]。
- ・水、薬品をかけないでください [プラスチック部材やパネルの劣化を防止するため]。

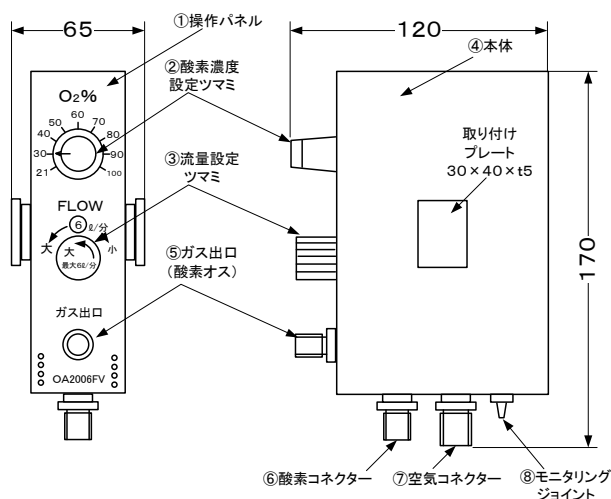
【形状・構造及び原理等】

1. 構成

本体 1、空気（黄色）/酸素（緑色）耐圧ホース 3 m 各 1
ポール取り付けブラケット 1、90° L ジョイント 1
竹の子ジョイント 1、添付文書 1

2. 寸法及び重量

本体重量 892g（寸法単位 mm）



3. 原理

1) 空気と酸素の供給

本体下側の⑦空気コネクター及び⑥酸素コネクターは、各々形状が異なり誤接続を防止しています。供給圧力は $0.45\text{MPa} \pm 0.1\text{MPa}$ です。各々のガスは逆流防止のチェック弁とフィルターを通り等圧減圧弁と警報弁に供給されます。

2) 等圧減圧弁

等圧弁は空気/酸素を同じ出力圧力とするための弁です。供給圧力の変動や酸素濃度の変更、流量の変更によりダイアフラム両面で受けている空気/酸素の圧バランスが

崩れるとダイアフラムは高压側に押されて低压側に移動します。この動きによりダイアフラムと連動する高压側の弁が閉じ低压側の弁は開き、空気/酸素の両出力圧力は等圧となるよう自動的に調整されます。

3) ブレンダー

ブレンダーは等圧供給された空気と酸素を必要な酸素濃度となるように混合します。

ブレンダー本体には空気用と酸素用の歯車付きニードルがネジ込まれています。両ニードルは歯車により反対方向の回転となり両軸はお互い反対方向への動きとなります。ニードル軸に取り付けた②酸素濃度設定ツマミと、①操作パネルの目盛により酸素濃度の設定ができます。

4) 警報弁

警報弁は両ガスの供給圧力に 0.2MPa 以上の圧力差が発生した場合、警報を発生させ正常供給側ガスを出力するための弁です（警報時は設定酸素濃度、設定流量を保つ事はできません）

警報弁内には両端にスプリングを持った対向ピストンがあり、ピストンの両側には等圧前の空気と酸素が導入されています。 0.2MPa 以上の差圧が発生すると警報通路が開き警報を発生させ一部が出力となります。

- ・両ガスが共に上昇、下降した場合は警報発生に必要な差圧が発生しないため、警報は発生しません。
- ・21%設定の時には酸素、100%設定の時には空気の消費が殆どありません、従って片ガス警報発生に時間がかかる場合があります。

5) 流量計

パネル上の③流量設定ツマミにより流量を設定すれば、設定した流量が⑤ガス出口から出力します。

6) ガス出力

⑤ガス出口から、設定した酸素濃度 21%～100%、流量 0～15L/min のガスが出力します（標準で L ジョイント、竹の子ジョイントが取り付けられています）

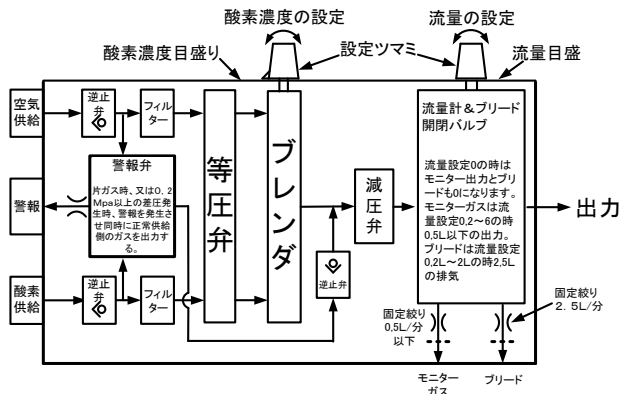
⑧モニタリングジョイントから設定ガスのモニター用ガス（0, 5L/min 以下）が出力します。

- ・流量設定 0 時はモニターガスの出力はありません。
- ・流量設定 1～3 L 間で設定酸素濃度を保つため 2, 5L/min のブリード排気があります。

7) 取り付け

本体の両側に付いている取り付けプレートを、ポール取り付けブラケット（標準付属品）に取り付けます。ポール取り付けブラケットはポール径 $\Phi 10 \sim \Phi 42$ のポールに取り付ける事ができます。

OA2006FV 動作系統図



【使用目的】

医療用の酸素ガスと圧縮空気を 21～100%の設定濃度に混合し、設定流量の混合ガスを医療機器或いは患者に供給します。

【使用方法等】

1. 組み立て

- 附属しているポール取り付けブラケットをポールに取り付け、ブレンダーを取り付けてください。
- ブレンダー底面に空気と酸素の供給を受けるための専用コネクタがあり誤接続を防いでいます。このコネクタに空気と酸素の耐圧管を接続し、空気と酸素を供給してください。
- 両ガスの供給圧力は 0.45MPa±0.1MPa である事を確認しガスの接続部からリークが無い事を確認してください。
- ブレンダーのガス出口にチューブ或いは必要なジョイントを接続してください。

2. 作動チェック

- 本器を患者に使用する前に以下のテストを行ってください。
- 組み立てた状態で酸素濃度を 60%、流量 5L/min に設定し警報が鳴らない事を確認してください。
- 圧縮空気或いは酸素の供給を停止（耐圧管を壁差込から抜いた時）した時、警報が発生する事を確認してください。この時、正常供給側のガスが供給を停止した側に逆流しない事を確認してください（警報時は酸素濃度、設定流量を保つことはできません）。
- ガスの供給圧力を正常に戻した時、警報が停止し流量が元の流量に戻る事を確認してください。この時酸素濃度が初めに設定した 60%±3%以内である事を確認してください。

3. 酸素濃度の変更

- 酸素濃度を変更した場合、ガスを消費して新しい酸素濃度に安定するまで暫く時間がかかります。
- 酸素濃度計を使い酸素濃度をモニターしてください。
- 酸素濃度を変更した時は流量も確認し、変化している場合は流量を調節してください。

【使用上の注意】

- 使用温度は+15℃～+35℃です。
- 正常に作動しない場合は使用しないで修理を受けてください。
- 医療用コンプレッサーを圧縮空気ガス源とする場合、コンプレッサーによっては水が出る場合があります、水溜めケース付きエアフィルターを併用してください。
- 供給ガスに汚れや塵埃、湿気があると故障の原因になります、清潔な医療用ガスを使用してください。
- ブレンダーに接続した耐圧管の片側を外した時、供給側のガスが外した側の耐圧管へ逆流していない事を確認してください。
- EOG 滅菌が可能です。
- 汚れを落とす場合は中性洗剤等を使って外面を清拭して下さい、液体がブレンダー内に入らない様に注意してください。
- オートクレープやプラズマ滅菌はできません、液体に浸さないでください、溶剤を含んだクリーナーは使用しないでください、樹脂の割れやラベルの剥がれが起きます。

【保管方法及び有効期間等】

- 保管温度 -20℃～+60℃
- 相対湿度 10～90%以下（非結露）
- 本器の使用期間は購入後 7 年です

【保守・点検に係る事項】

1. 使用者による保守点検事項

- 使用前点検は破損、汚れ、部品の紛失、各部の緩み、酸素濃度、流量、警報、を確認してください。
- 3 か月に一度は使用前点検に加え各部品に変形や劣化が無い等、本器の状態を確認してください。

2. 業者による保守点検事項（有料）

- 突然のトラブルを未然に防ぐために定期点検（1 年毎）及びオーバーホール（2 年毎）が必要です。
- 但し使用する状態によって期間は大きく異なります、仕様を満たさなくなった場合、直ちに保守点検が必要です。

お願い

本器を修理として戻される場合には清拭をしてからお返し下さい、感染症等の恐れが有る場合にはお受け取りできないのでご承知ください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 有限会社サンユーテクノロジー
TEL 048-951-3627
製造業者 有限会社サンユーテクノロジー

販売代理店：イワキ株式会社

東京都荒川区東日暮里 4 丁目 12 番 1 号
シンコービル 4 階
03 - 6733 - 0224